

令和7年度広島県教育奨励賞受賞の状況

個人（学校教育）

氏 名	所属及び職名	功 績 等
松 野 雄 太	福山市立東小学校 教諭	<p>令和元年度から令和2年度まで参加した大学院派遣研修で行った社会科の研究を基に、学校全体を巻き込みながら実践を重ねた。</p> <p>令和5年度には、広島県小学校社会科教育研究大会で研究発表や授業提案を行い、令和6年度には、広島県小学校社会科教育研究大会、全国小学校社会科研究協議会研究大会で実践発表を行うなど、市内外へ成果を発信することで社会科教育の発展に寄与した。</p> <p>現所属校では、「主体的に学び合う教職員集団」を目指した校内研修を実施し、学びについて語る場を設けるとともに、授業者と学年団、低中高学年部とグループの幅を広げながら学校全体を巻き込む「チーム学校の校内研修」づくりに取り組んだ。</p>
近 藤 晃 史	福山市立想青学園 教諭	<p>令和4年度の開校当初よりコミュニティ・スクールを導入し、担当教員として地域と学校をつなぐ役割を担い、地域に開かれた学校づくりを推進した。</p> <p>前期・後期を超えた教科研究グループ体制を整備し、多様な視点で議論を深めるとともに、授業改善を学校全体の課題として共有する体制の確立に貢献した。</p> <p>また、総合的な学習の時間を核とする新教科SOSEI学のカリキュラム編成を中心となってい、当初の構想課題から、「SOSEI学活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ、前期課程では地域からミッションを受け取り、後期課程では地域との対話を通じて自ら課題を発見・解決する形式へと転換させた。</p> <p>さらに、社会科において生徒が自ら関心を持った探究課題を設定し個人探究を軸に授業を進め、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めた。</p>

団体（学校教育）

区 分	団体名	功 績 等
学校教育	福山市立西小学校 校長 桑田 貴子	<p>令和4年度に福山市の「効果的なICT活用実践研究校」の指定を受け、教師は「効果的に使う」こと、児童は「日常的に使う」ことを柱とし、教科等で育成を目指す資質・能力を確実に定着させ、これからの社会で求められる自律的に学び続ける力を育てる新たな学び方を身に付けるための授業改善に取り組んだ。</p> <p>児童の一人1台端末に搭載されたツールやアプリケーションについて、低学年・中学年・高学年・中学校のそれぞれの段階でどのように活用できればよいかを一覧にした活用スキル体系表を学校の実態に合わせて作成し、発達段階に応じた身に付けるべきスキルを明確化した。</p> <p>授業でのICTの活用だけでなく、校務のデジタル化も図っており、共有ドライブやWeb会議システム等の汎用的なアプリケーションを活用することで、校務の効率化を図るとともに、教職員の働き方改革や意識改革を行った。</p>